

第32回

うつのみやこども賞だより

平成27年度 10回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『ひみつの校庭』

吉野万理子/著 (学研プラス)



～読んだ本の感想より～

●葉太の小学校は、自分の木を決めて6年間かんさつするのがおもしろいと思いました。私も、アオノリュウゼツランの花をみてみたいです。

●読むだけで植物についてよくわかったので、おもしろかった。「ハカラメ」は、はじめて知って、びっくりした。

●もとは植物園だった学校というのにそそられた。本当にそんな場所があったらいいな。

●葉太の学校みたいな決まりが自分の学校にもあったらいいと思った。

- 私もかんさつノートを描いてみたいとおもった。
- 植物が好きなので、この学校にいけたらなと思いました。
- 私もひみつの校庭つきの学校に行きたいです。

『しゅるしゅるぱん』おおぎやなぎちか/著 (福音館書店)

●昔のことと現在の事が同時に起こっているみたいでわくわくした。しゅるしゅるぱんを中心に時や出来事が進んでいくのがよく伝わった。

●「かいと」と「そうたろう」が、一じょう岩に行ったとき、いっしゅんで、風景が変わるのがおもしろかった。

●読み進めていくと家けい図や本当の話などが分かってなぞときみたいでおもしろかったです。

●方言があって読みにくかったけど、その分岩手県室溜町のくらしが分かるような気がしました。

●しゅるしゅるぱんに会ってみたいです。

●時代がかわっても、つながっていると感じました。

『根の国物語』 久保田香里/著 (文研出版)

●今のわたしたちの生活とかけはなれているから、とてもドキドキした。

●何でも母の言う通り、母に助けてもらっていたナムジが変わっていくところがすごいなと思った。

●スセリは出雲にいけたのか気になりました。

●いちど古事記でお話しをよんだことがあったので楽しかったです。

●伝説や昔の話が話しのなかにまざっていて、おもしろかった。

●1度でいいので、こんな国に住んでみたいなと思いました。実現したらおもしろそうだなと思う場面がいくつもありました。

『ようこそ、ペンション・アニモーへ』光丘真理/著 (汐文社)

●ペンション・アニモーに泊まりにくる人はみんな何かに悩んでいるけれど、帰るときには悩みがなくなっているのがいいと思いました。

●本を読みながら、私もお客さんが動物なのかなと思ってしまいました。

●私もペンション・アニモーに行きたいなと思いました。

●登場人物の名前・様子からどんな動物か考えることができたから、楽しみながら読むことができた。